

斑点米カメムシ類対策を徹底しましょう！

斑点米カメムシ類（写真）は、粃を吸汁し斑点米を発生させます。わずかな斑点米の発生でも玄米の品質低下（等級落ち）を引き起こすため、下記の対策を徹底しましょう。



1. 本田雑草防除を徹底

斑点米カメムシ類の誘因源となる水田内のイネ科雑草、ホタルイ等を防除しましょう。



ヒエの穂



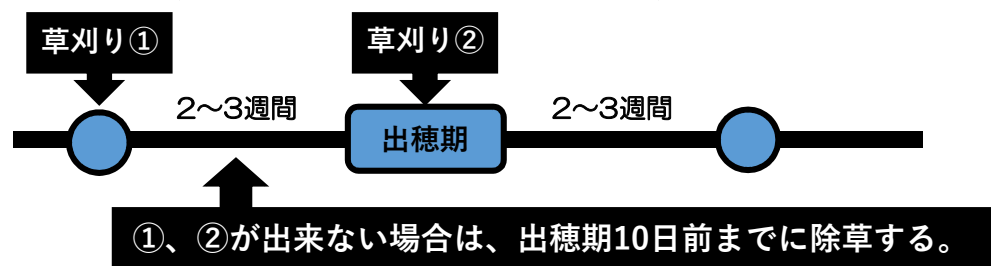
ホタルイの穂

2. 水田畦畔・農道等の雑草管理を徹底

地域ぐるみで共同除草を実施しましょう。

畦畔連続2回草刈り

イネの出穂前後6週間は、カメムシ類を寄せ付けないようにするため、イネ科雑草の出穂を抑制する。



3. 農薬散布の徹底

地域ぐるみで共同防除を実施しましょう。

○散布時期：出穂期7～10日後（乳熟初期）、その後の発生により7～10日間隔で追加防除

○散布回数：1～2回、状況によって加減する。

※粒剤は出穂期～出穂期7日後、液剤・粉剤は乳熟初期の散布が効果的です。

4. 留意点

○周辺水田よりも出穂が早い品種や遅い品種は、集中加害に注意する。

○出穂期～穂ぞろい期頃までは飛来してきた成虫、それ以降は成虫・幼虫により加害される